

入 札 説 明 書

「奈良先端大受変電設備等点検業務」

令和 7 年 7 月

NAIST NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

目 次

1	契約担当者等	3
2	調達内容	3
3	競争参加資格	3
4	入札書等の提出場所等	4
5	その他	7
別 紙	1 競争参加資格の確認のための書類	9
別 紙 様 式	入 札 書 様 式	10
別紙作成例	1 代 理 委 任 状	12
別紙作成例	2 誓 約 書	15
入札に関する問合せ先		16
別 冊	仕 様 書	
別 冊	契 約 書 (案)	
別 冊	契 約 基 準	

本説明書中、**A**～**P**とあるのは、調達案件ごとに配付する
入札要項を語群表として読み替えるものとする。

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学における入札公告（**A**付け）に基づく入札等については、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学会計規則、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学契約事務取扱規程、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学物品供給等契約要項及び入札公告に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 契約担当者等

- (1) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 学長 **B**
- (2) 法人名 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
- (3) 所在地 〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-5

2 調達内容

- (1) 件名及び数量 **C**
- (2) 調達件名の特質等 詳細は、別冊の仕様書による。
- (3) 履行期間 **D**
- (4) 履行場所 **E**
- (5) 入札方法

落札者の決定は、最低価格落札方式をもって行うので、

- ① 競争加入者又はその代理人（以下「競争加入者等」という。）は、請負代金の前金払の有無、前金払の割合又は金額、部分払の有無又はその支払回数等の契約条件を別紙契約書（案）及び国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学が定めた**F**（以下「契約基準」という。）に基づき十分考慮して入札金額を見積もるものとする。

また、別に仕様書で定める場合を除き、請負に要する一切の諸経費を含め入札金額を見積もるものとする。

- ② 入札書には**G**を記載すること。なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額**H**をもって落札価格とするので、競争加入者等は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を記載した入札書を提出しなければならない。

- (6) 入札保証金及び契約保証金 免除

3 競争参加資格

- (1) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学契約事務取扱規程第7条及び第8条に規定される次の事項に該当する者は、競争に参加する資格を有しない。

- ① 未成年者（婚姻若しくは営業許可を受けている者を除く。）、成年被後見人、被保佐人及び被補助人並びに破産者で復権を得ない者

なお、未成年者、被保佐人及び被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている場合は、これにあたらぬ。

- ② 以下の各号のいずれかに該当し、かつ、その事実があった後2年を経過していない者(これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者についてもまた同じ。)
- (ア) 契約の履行に当たり故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
 - (イ) 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者
 - (ウ) 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者
 - (エ) 落札したが契約を締結しなかった者
 - (オ) 監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者
 - (カ) 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者
 - (キ) 前各号のいずれかに該当する事実があった後2年を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人その他の使用人として使用した者
- (2) 文部科学省競争参加資格(全省庁統一資格)において、開札時までに^I近畿地域の^Jに格付けされている者であること。
- なお、競争参加資格を有しない競争加入者は、速やかに資格審査申請を行う必要がある。
- (3) 本件調達を別冊仕様書に従い履行することができることを証明した者であること。
 - (4) 本件調達の入札において、「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」(昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。)に違反し、価格又はその他の点に関し、公正な競争を不法に阻害するために入札を行った者でないこと。
 - (5) 学長から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
 - (6) 次に掲げる資格を有する者を業務責任者として配置できること。
 - ・第3種電気主任技術者以上
 - (7) 当該業務を履行するのに必要な資格を有する者を配置できること。

4 入札書等の提出場所等

- (1) 入札書及び上記3の競争参加資格を有することを証明する書類(以下「競争参加資格の確認のための書類」という。)の提出場所、契約条項を示す場所及び問合せ先

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-19
 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
 管理部施設課施設企画係
 TEL: 0743-72-5053
- (2) 入札書等の受領期限

^K(郵送(書留郵便等の配達記録が残るものに限る。)する場合には受領期限までに必着のこと。)
- (3) 入札書の提出方法

- ① 競争加入者等は、別冊の契約書（案）、仕様書及び契約基準を熟覧のうえ入札しなければならない。この場合において、当該契約書等に疑義がある場合は、上記（１）に掲げる者に説明を求めることができる。
 - ② 競争加入者等は次に掲げる事項を記載した別紙様式の入札書を作成し、封書に入れ封印し、かつ、その封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「L開札Cの入札書在中」と朱書しなければならない。
 - (ア) C
 - (イ) 入札金額
 - (ウ) 競争加入者本人の住所、氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び押印（外国人の署名を含む。以下同じ）
 - (エ) 代理人が入札する場合は、競争加入者本人の住所及び氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印
 - ③ 郵送（書留郵便に限る）により提出する場合は二重封筒とし、表封筒に「L開札Cの入札書在中」と朱書きし、中封筒の封皮には直接に提出する場合と同様に氏名等を朱書きし、上記４の（１）宛に入札書等の受領期限までに到達するように送付しなければならない。なお、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認めない。
 - ④ 競争加入者等は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。
 - ⑤ 競争加入者等は、その提出した入札書の引換え、変更又は取消しをすることができない。
- (４) 入札の無効
- 入札書で次の各号の一に該当するものは、これを無効とする。
- ① 入札公告及び入札説明書に示した競争参加資格のない者の提出したもの
 - ② 件名及び入札金額のないもの
 - ③ 競争加入者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び押印のない又は判然としないもの
 - ④ 代理人が入札する場合は、競争加入者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印のない又は判然としないもの（記載のない又は判然としない事項が、競争加入者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）又は代理人であることの表示である場合には、正当な代理であることが代理委任状その他で確認されたものを除く。）
 - ⑤ 件名に重大な誤りのあるもの
 - ⑥ 入札金額の記載が不明確なもの
 - ⑦ 入札金額の記載を訂正したものでその訂正について印の押していないもの

- ⑧ 入札公告及び入札説明書に示した入札書等の受領期限までに到達しなかったもの
 - ⑨ 入札公告及び入札説明書に示した競争加入者等に要求される事項を履行しなかった者の提出したもの
 - ⑩ 上記3の(2)なお書きによる資格審査が開札日時までに終了しないとき又は資格を有すると認められなかったときのもの
 - ⑪ 独占禁止法に違反し、価格又はその他の点に関し、公正な競争を不法に阻害したと認められる者の提出したもの（この場合にあつては、当該入札書を提出した者の名前を公表するものとする。）
 - ⑫ その他入札に関する条件に違反したもの
- (5) 入札の延期等
- 競争加入者等が相連合し、又は不穩の挙動をする等の場合であつて、競争入札を公正に執行することができない状況にあると認められるときは、当該入札を延期し、又はこれを廃止することがある。
- (6) 代理人による入札
- ① 代理人が入札する場合は、入札時までに代理委任状を提出しなければならない。
 - ② 競争加入者等は、本件調達に係る入札について他の競争加入者の代理人を兼ねることができない。
- (7) 開札の日時及び場所 M
- (8) 開札
- ① 開札は、競争加入者等を立ち会わせて行う。ただし、競争加入者等が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて行う。
 - ② 開札場には、競争加入者等並びに入札事務に関係のある職員（以下「入札関係職員」という。）及び上記①の立会職員以外の者は入場することはできない。
 - ③ 競争加入者等は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。
 - ④ 競争加入者等は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ、身分証明書を提示しなければならない。この場合、代理人が(6)の①に該当する代理人以外の者である場合にあつては、代理委任状を提出しなければならない。
 - ⑤ 競争加入者等は、学長が特にやむを得ない事情があると認められる場合のほか、開札場を退場することはできない。
 - ⑥ 開札場において、次の各号のいずれかに該当する者は当該開札場から退去させる。
 - (ア) 公正な競争の執行を妨げ又は妨げようとした者
 - (イ) 公正な価格を害し又は不正の利益を得るために連合をした者
 - ⑦ 開札をした場合において、競争加入者等の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。この場合において、競争加入者等のすべてが立ち会っている場合にあつては直ちに、その他の場合にあつては別に定める日時において入札を行う。

5 その他

(1) 競争加入者等に要求される事項

- ① この一般競争に参加を希望する者は、封印した入札書を上記3の競争参加資格の確認のための書類とともに、上記4の(2)入札書等の受領期限までに提出しなければならない。
- ② 競争加入者等は、開札日の前日までの間において、学長から競争参加資格の確認のための書類その他入札公告及び入札説明書において求められた条件に関し、説明を求められた場合には、競争加入者等の負担において完全な説明をしなければならない。
- ③ 競争加入者等又は契約の相手方が本件調達に関して要した費用については、すべて当該競争加入者等又は契約の相手方が負担するものとする。
- ④ 競争加入者等は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。
- ⑤ 競争加入者等は、入札に当たっては競争を制限する目的で他の競争加入者等と入札金額又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に価格を定めなければならない。
- ⑥ 競争加入者等は、落札者の決定前に他の競争加入者等に対して入札金額を意図的に開示してはならない。

(2) 競争参加資格の確認のための書類

- ① 競争参加資格の確認のための書類は別紙1により作成する。
- ② 資料等の作成に要する費用は、競争加入者等の負担とする。
- ③ 学長は、提出された書類を競争参加資格の確認以外に競争加入者等は無断で使用することはない。
- ④ 一旦受領した書類は返却しない。
- ⑤ 一旦受領した書類の差し替え及び再提出は認めない。
- ⑥ 競争加入者等が自己に有利な評価を受けることを目的として虚偽又は不正の記載をしたと判断される場合には、評価の対象としない。

(3) 落札者の決定方法 最低価格落札方式とする。

- ① 上記4の(3)に従い書類・資料を添付して入札書を提出した競争加入者等であって、上記3の競争参加資格及び本入札説明書において明らかにした要求要件をすべて満たし、当該競争加入者等の入札価格が国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学契約事務取扱規程第15条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った競争加入者等を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるとして、著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

② 落札者となるべき者が二人以上あるときは、直ちに当該競争加入者等にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。また、競争加入者等のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係ない職員がこれに代わってくじを引き落札者を決定するものとする。

③ 学長は、落札者を決定したときは、直ちに落札者を決定したこと、落札者の氏名及び落札金額を、落札者とされなかった競争加入者等に通知する。

④ 落札者が、指定の期日までに契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すものとする。

(4) 手続きにおける交渉の有無 無

(5) 契約書の作成

① 競争入札を執行し、契約の相手方が決定したときは、契約の相手方として決定した日から10日以内に（契約の相手方が遠隔地にある等特別の事情があるときは、指定の期日までに）契約書の取り交わしをするものとする。

② 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名押印し、更に学長が当該契約書の案の送付を受けてこれに記名押印するものとする。

③ 上記②の場合において、学長が記名押印したときは、当該契約書の1通を契約の相手方に送付するものとする。

④ 学長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

(6) 支払条件 ☐N

(7) 質疑がある場合は、☐Oまでに書面（任意様式）にて提出するものとする。質疑に対する回答は次のとおり閲覧に供する。

閲覧期間：☐P

閲覧場所：奈良先端科学技術大学院大学ホームページ

<https://www.naist.jp/corporate/facilities.html>

別 紙 1	競争参加資格の確認のための書類
別 紙 様 式	入 札 書 様 式
別紙作成例1	代 理 委 任 状
別紙作成例2	誓 約 書
別 冊	仕 様 書
別 冊	契 約 書 (案)
別 冊	契 約 基 準

別紙1

競争参加資格の確認のための書類

- (1) 誓約書 . . . 1 部
- (2) Iの、文部科学省競争参加資格（全省庁統一資格）の資格審査
結果通知書の写し . . . 1 部
- (3) 業務責任者に求める資格を有することを証明する書類 . . . 各1 部
- ①配置予定の業務責任者が有する第3種電気主任技術者以上の免状（写）
- ②自社社員であることを証明できる書類（写）
- 下記のうちいずれかの書類等により確認する。ただし、公告日以降の
日付の書類は除く。
- ・健康保険被保険者証
 - ・雇用保険被保険者標準報酬決定通知書
 - ・住民税特別徴収税額の通知書 等
- (4) 配置予定者名簿（様式任意） . . . 1 部
（業務担当者に求める資格は別冊の仕様書を参照すること。）
- ※（1）及び（4）の書類に関しては、競争加入者等の社印、代表者名を記載
し、代表者印を押印すること。

入 札 書

件名及び数量

入 札 金 額 金 円也

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学が定めるを熟知し、仕様書に従って上記の請負を履行するものとして、入札に関する条件を承諾の上、上記の金額によって入札します。

令和 年 月 日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 御 中

競争加入者

〔住 所〕

〔氏名、押印〕（法人の場合は、その名称又は商号及び
代表者の（職）・氏名、（代表者の）印）

備 考

(1) 日付は、作成当日の日付を記入すること。

(2) 代理人が入札する場合の競争加入者欄の記載

競争加入者

〔住 所〕

〔氏 名〕(法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の(職)・
氏名)

代 理 人

〔住 所〕

〔会 社 名〕

〔代理人の(職)・氏名、(委任状に押印の) 印〕

(3) 復代理人が入札する場合の競争加入者欄の記載

競争加入者

〔住 所〕

〔氏 名〕(法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の(職)・
氏名)

復 代 理 人

〔住 所〕

〔会 社 名〕

〔復代理人の(職)・氏名、(復委任状に押印の) 印〕

A（競争加入者が権限について社員等に代理委任する場合）

委 任 状

令和 年 月 日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 御中

委 任 者（競争加入者）

〔住 所〕

〔会 社 名〕

〔代表者の職・氏名、代表者の印〕

私は、下記の者を代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

記

受任者（代理人）

〔支社・支店・営業所等の住所〕

〔会社名・支社・支店・営業所等の名称〕

〔受任者の職・氏名〕

〔L〕、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学において開札される「〔C〕」の一般競争入札に関する件

受任者（代理人）使用印鑑

注1 本代理委任状により受任する代理人は、入札書以外の書類については、作成（記名・押印）権限を有しないので注意すること。

注2 本代理委任状は、代理権を行使するまでに提出すること。

委 任 状

令和 年 月 日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 御中

委 任 者（競争加入者）

〔住 所〕

〔会 社 名〕

〔代表者の職・氏名、代表者の印〕

私は、下記の者を〔L〕、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学において開札される〔C〕の一般競争入札に関する件の代理人と定め、貴学との間における下記の権限を委任します。

記

受任者（代理人） 〔支社・支店・営業所等の住所〕
〔会社名・支社・支店・営業所等の名称〕
〔受任者の職・氏名〕

委 任 事 項

1. 入札及び見積りに関する一切の件
2. 契約締結に関する件
3. 入札保証金及び契約保証金の納付及び還付に関する件
4. 契約事項の履行及び取下げに関する件
5. 請負代金の請求及び受領に関する件
6. 復代理人の選任に関する件
7. その他契約に関する一切の事項

受任者（代理人）使用印鑑

注1 本代理委任状は、代理権を行使するまでに提出すること。

C（競争加入者から前頁Bの代理委任を受任している支社長・支店長・営業所長等が、権限について社員等に復委任する場合）

委 任 状

令和 年 月 日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 御中

委 任 者（競争加入者の代理人）
〔支社・支店・営業所等の住所〕
〔会社名・支社・支店・営業所等の名称〕
〔職・氏名・B委任状使用印〕

私は、下記の者を〔会社名・代表者職・氏名〕（競争加入者）の復代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

記

受任者（復代理人） 〔支社・支店・営業所等の住所〕
〔会社名・支社・支店・営業所等の名称〕
〔受任者の職・氏名〕

〔L〕、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学において、開札される「〔C〕」の一般競争入札に関する件

受任者（競争加入者の復代理人）
使用印鑑

注1 本代理復委任状により受任する復代理人は、入札書以外の書類については、作成（記名・押印）権限を有さないので注意すること。誓約書等は、競争加入者の代理人（支社長・支店長・営業所長等）が作成（記名・押印）すること。

注2 本代理委任状は、前頁Bの代理委任状（復代理人の選任に関する委任事項が含まれていること。）が提出されていなければ無効となるので注意すること。

注3 本代理委任状は、代理権を行使するまでに提出すること。

誓 約 書

貴学における「C」の競争入札に参加するにあたり、入札公告2の競争参加資格について下記のとおり誓約いたします。

記

- (1) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学契約事務取扱規程の第7条及び第8条の規定に該当しません。
- (2) 別紙資格審査結果通知書（全省庁統一資格）（写）のとおり、格付けされています。
- (3) 仕様書に従い、本件請負業務を履行できる者であります。
- (4) 本件調達の入札において、「独占禁止法」に違反し、価格又はその他の点に関し、公正な競争を不法に阻害するために入札を行った者ではありません。
- (5) 貴学学長から取引停止の措置を受けている期間中の者ではありません。
- (6) 次に掲げる資格を有する者を業務責任者として配置できます。
 - ・第3種電気主任技術者以上
- (7) 当該業務を履行するのに必要な資格を有する者を配置できます。

令和 年 月 日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 御中

競争加入者

〔住 所〕

〔氏名、押印〕（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の（職）

・氏名、（代表者の）印）

注1 別紙作成例1代理委任状Bによる代理委任を受けた代理人が作成する場合は、競争加入者欄を別紙様式入札書様式の「代理人が作成する場合」と同様に記載すること。

入札に関する問合せ先

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
施設課施設企画係

TEL 0743-72-5053

FAX 0743-72-5013